

宮城県水道基盤強化計画策定に向けた水道事業広域化シミュレーションについて

平成 31 年 1 月 11 日
食と暮らしの安全推進課

1 目的

宮城県水道事業広域化の検討のための基礎情報とするため、県内各水道事業体の現状分析及び将来予測並びに多様な形態の広域連携シミュレーションを行う。

2 業務期間

平成 31 年 5 月から平成 32 年 3 月末

3 業務内容

(1) 現況把握（県全体及び各事業体の水道概況）

- ・水道施設の状況、固定資産の状況などの基本情報を整理
- ・委託業務（維持管理業務、検査業務等）の発注状況を調査・整理

(2) 現状分析（P I 分析）

- ・現況把握から整理された課題に関連した指標（P I）について、事業体ごとに分析を行う。

(3) 将来推計

- ・推計年度は 2019 年度から 2058 年度（40 年間）とする。
- ・給水人口及び給水量の需要量予測を行う。
- ・需要量予測に基づき事業体ごとに財政収支シミュレーションを行う。

(4) 多様な広域連携シミュレーション

- ・シミュレーションは実際のデータを用いて行うが、この結果を用いて具体的な広域連携につなげるものではなく、多様な広域連携によりどの程度の効果が見込まれるかを例示的に示すことを目的とする。
- ・選定したいくつかの事業体間で組み合わせた連携パターンごとに、多様な形態の広域化をした場合のシミュレーションを行い、それぞれの広域化の効果、課題等を検証する。

※多様な形態の広域化：事業統合、経営の一体化、管理の一体化、施設の共同化

4 資料収集

- ・今回の調査業務に必要なデータは下記①から⑤の資料を活用するが、不足する資料については資料提供を依頼しますので御協力をお願いします。

①市町村の決算概要（平成 19 年度から平成 29 年度分）

②平成 29 年度宮城県の水道（統計データ）

③宮城県水道ビジョン（平成 28 年 3 月策定）

④宮城県水道地図

⑤平成 30 年度実施の将来推計で収集したデータ

※提供を依頼する予定の資料

●固定資産に関する資料（取得年月日・取得価格・減価償却累計額等）

●委託業務（維持管理業務、検査業務等）の発注状況

- ・提供していただく資料の精度がシミュレーション結果の精度に影響します。特に固定資産に関する資料は事前に整理を進めてなるべく精度の高い情報提供をお願いします。

- ・資料提供依頼時期は平成 31 年 3 月から 4 月頃を予定しています。